

平成26年度（2014年度）第1学年4月入学選抜検査

## 適性検査Ⅱ

平成26年（2014年）2月3日（月）実施

### 注意

- 1 指示があるまでは、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題用紙は4ページあります。問題用紙のあいているところは自由に使ってかまいません。ただし、問題用紙に書いたものは採点されません。
- 3 解答用紙は1枚です。解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 4 適性検査Ⅱの検査時間は45分間です。
- 5 声を出して読むてはいけません。
- 6 問題用紙には受検番号と氏名を、解答用紙には受検番号を記入してください。
- 7 問題についての質問は受けません。
- 8 問題用紙を持ち帰ることはできません。解答用紙といっしょに提出してください。

受検番号	氏名
------	----

東京学芸大学附属国際中等教育学校

TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY INTERNATIONAL SECONDARY SCHOOL

以下の文章を読んで、問1～問4に答えなさい。図1～5は3、4ページにあります。

紙おむつは、<sup>おうべい</sup>欧米などではかなり以前から使用されており、<sup>ふきゅうりつ</sup>普及率も高く、多くの人に受け入れられてきました。日本でも1960年代前半に発売されましたが、「もったいない」「なまけものと思われる」などという意識が強かったためあまり使用されず、布おむつが主流でした。本格的に使用されるようになったのは1980年以降です。ちょうどその頃、<sup>ころ</sup>それまでの紙おむつよりも吸水性が格段にアップした紙おむつが登場しました。それにより、<sup>と</sup>取りか<sup>ひんど</sup>える頻度も減りました。紙おむつの使用率は上がり続けています。その一方で、<sup>かんきょう</sup>環境面での問題が<sup>してま</sup>指摘されています。

(ケミカル・ワンダータウン(経済産業省)と「国民生活白書」(1990年 <sup>きかくちよう</sup>経済企画庁(当時))より作成)

問1 図1によると、2000年代に入ってから大人用の紙おむつの生産数はほぼ増え続けています。その理由を、図2～5のうち、二つの図をもとにして書きなさい。なお、どの図をもとにしているのかわかるように書くこと。

問2 図2によると1970年半ばから出生数はほぼ下がり続けているにもかかわらず、図1では1996年まで乳児用の紙おむつの生産数はほぼ増え続けています。その理由を、図3～5のどれか一つをもとにして書きなさい。なお、どの図をもとにしているのかわかるように書くこと。

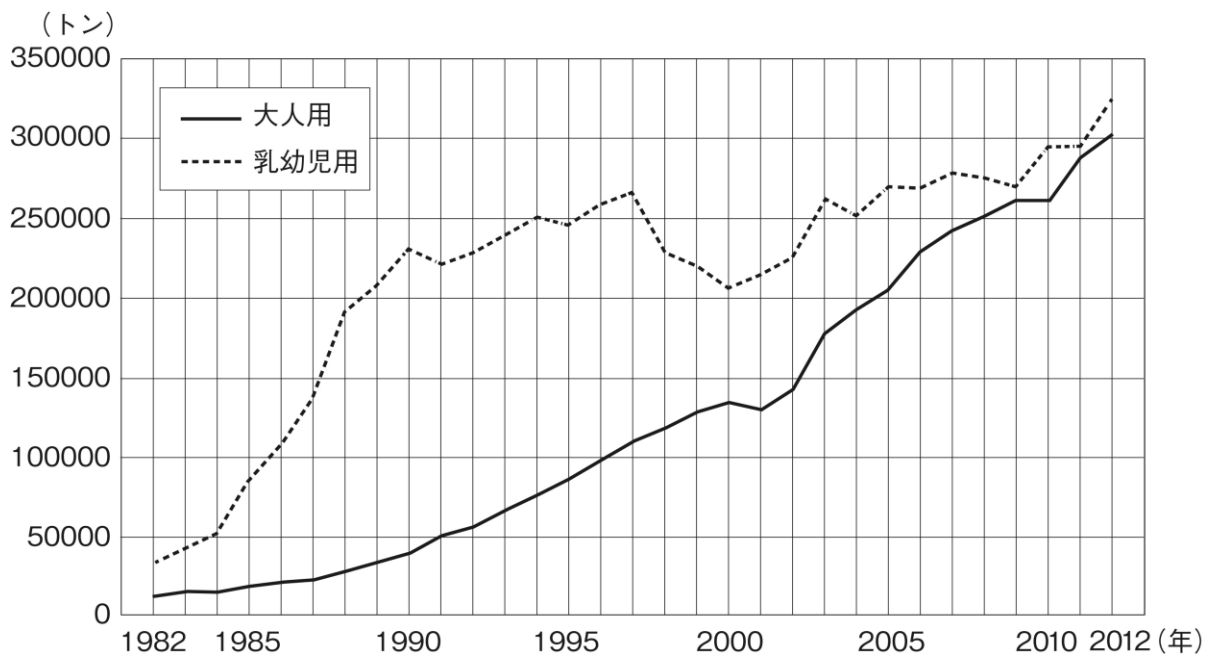
問3 あなたが2020年までの任期で紙おむつメーカーの社長になったとします。図2によると日本では新生児の出生数が減り続けていますが、あなたが社長でいる間、国内でこの<sup>けいこう</sup>傾向が続き、世界各国の人口構成に大きな変化がなかったとしたら、従来の紙おむつの<sup>はんばい</sup>販売においてどのような方針を立てますか。図1～5を利用して、国内向けの方針と海外向けの方針をそれぞれ一つずつ考え、理由とともに書きなさい。なお、どの図をもとにしているのかわかるように書くこと。

問4 紙おむつ以外にも、人が快適に生活するために、人工的で工夫にあふれたものが生み出されています。一方で、それが<sup>はかい</sup>環境破壊につながる場合があります。以下の二つの点に<sup>ふ</sup>触れながら、あなたの考えを300字以上360字以内で書きなさい。

- ・人が快適に生活するために生み出されたものを一つ挙げ、どのように快適になったのか、そしてそれがどのように<sup>はかい</sup>環境破壊につながっているのか、説明しなさい。
- ・<sup>えいきよう</sup>環境への影響を考えると、上の文章であなたが挙げたものを<sup>せんたく</sup>使わないという選択もありますが、環境への影響を減らすように工夫して使うという視点も大切なことです。では、人と自然が共存するためにどのような工夫が考えられますか。あなたの考えを説明しなさい。

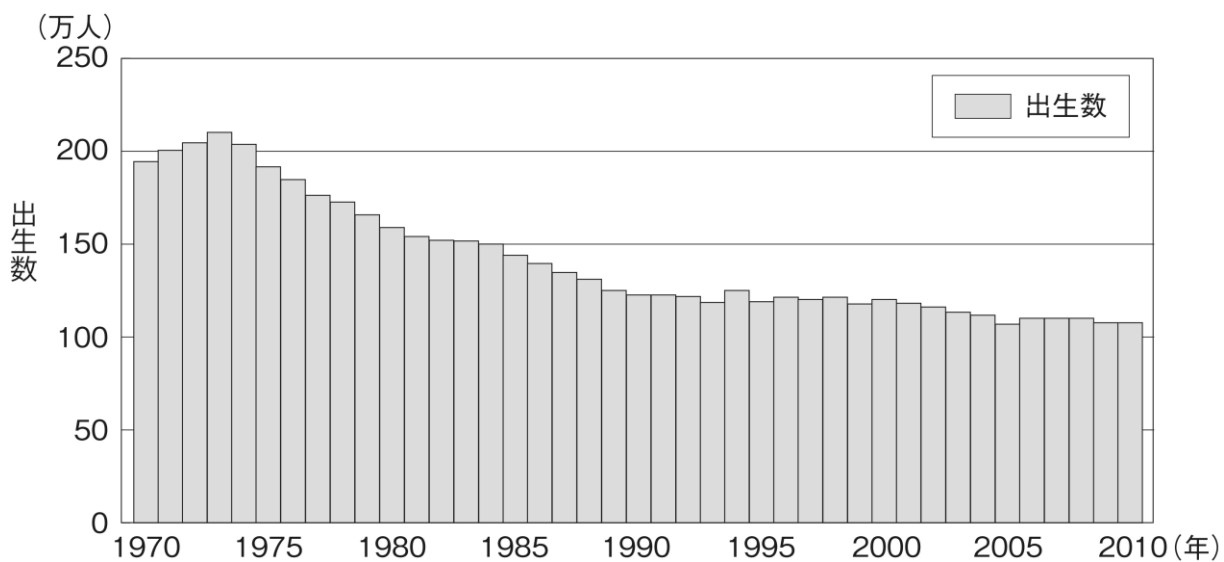
このページに検査問題はありません。次のページに進んでください。

〔図1〕 紙おむつ生産数



いっぽん  
一般社団法人 日本衛生材料工業連合会の資料をもとに作成しています。

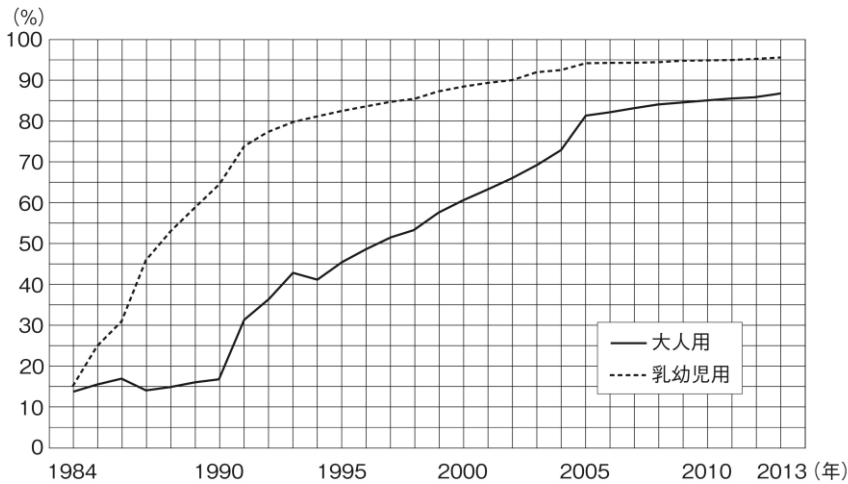
〔図2〕 人口動態統計



こうせい  
厚生労働省「人口動態統計」2013年をもとに作成しています。

1970～1972年は<sup>おきなわ</sup>沖縄県を<sup>ふく</sup>含みません。2010年の出生数はおおよその数です。

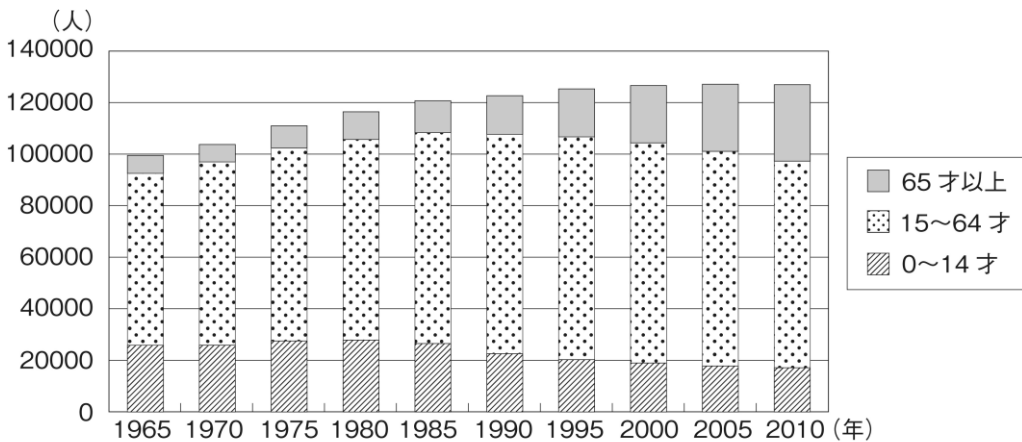
〔図3〕 布おむつから紙おむつへの<sup>てんかん</sup>転換率



一般社団法人日本衛生材料工業連合会の資料をもとに作成しています。転換率の求め方は以下の通りです。なお転換率は年によって予測の数字の場合があります。

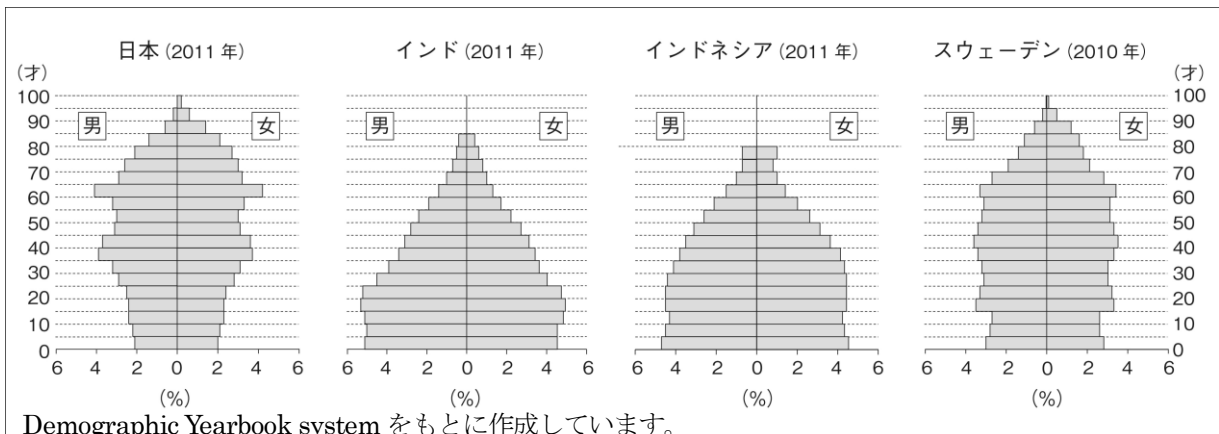
$$\text{転換率} = \frac{\text{紙おむつの生産数}}{\text{対象人口} \times \text{一日あたりの使用枚数} \times 365 \text{日}} \times 100$$

〔図4〕 年齢階級別の人口の推移<sup>ねんれい</sup>



総務省統計局 「日本統計年鑑」2013年をもとに作成しています。

〔図5〕 人口ピラミッド



Demographic Yearbook system をもとに作成しています。